2025年度 札幌市立大学大学院 連携プロジェクト演習 公開成果発表会 プログラム

日時：2025年10月25日（土）14：50～16：00
場所：札幌市立大学サテライトキャンパス　大会議室（アスティ45 12階）

開　会　14：50　看護学研究科長　貝谷 敏子
14：55　2025年度連携プロジェクト演習の狙いと枠組み
15：00　2025年度「連携プロジェクト演習」成果発表

プレゼンテーション＋質疑応答（含む入替）＝20分間

発表番号	予定時刻	タイトル／発表概要		グループ構成員
1	15:00 ～ 15:20	【タイトル】	**50代から始める「自分らしさ」を残す記録媒体の検討 ―しくじり経験の記述による介入実験―**	看護学研究科博士前期課程１年 布川 愛美 デザイン研究科博士前期課程１年 小野 日大　木村 脩人 蔵前 萌那　孔 維鵬 指導教員　鬼塚准教授(看護) 並木准教授(共通教育)
		【発表概要】	高齢者が施設入所後も自分らしい生活を維持するには、価値観や記憶を事前に記録・共有する仕組みが重要だが、内面的情報の共有には課題が残されている。本研究は、自己表現に不慣れな人も対象に、「しくじり経験」という思い出しやすいテーマを用いて自己記述を促し、自分らしさの再確認と将来的な介護への備えにつなげる方法を探ることを目的とする。介入実験では、記憶喚起を促す質問票を用い、エピソード記述の変化を統計的に検証した。その結果、失敗談は内面や価値観を伝える有効な記録となる可能性が示唆された。今後は、記録支援の方法や質問項目の改善を通じ、介護に向けた心理的準備や家族との対話促進に活用できる可能性を模索する。	
2	15:20 ～ 15:40	【タイトル】	**高齢者のオーラルフレイル予防を促すアナログゲームの開発と評価　―「おロすこやかビンゴ」を通じた口腔と全身の健康の関係を伝える実践―**	デザイン研究科博士前期課程１年 小原 千宥 宋 鈺燕 堀田 ゆりあ 指導教員　市戸准教授(看護) 小林准教授(デザイン)
		【発表概要】	高齢者の身体機能低下には、口腔機能の衰え（オーラルフレイル）が関係している。従来は口腔機能に限定した啓発が多いことから、本研究ではロと全身の健康のつながりを伝えるゲーム「おロすこやかビンゴ」を制作した。ビンゴの各番号に対応するカード表面には、オーラルフレイルに関する質問や運動を示し「歯、口の筋肉、嚥下、食事、交流」で構成した。番号を読み上げるごとに参加者はそれらを実践し、カード裏面に示したロと全身への効果や生活への応用を確認して自身の行動が健康に及ぼす影響を理解できるようにした。89名の参加者に実施した結果、ロと全身の健康の関係性を学び、ゲームで得た知識や運動を日常生活で活かしたいと答えた。	

講　評　15：40　看護学研究科長　貝谷 敏子、デザイン研究科長　齊藤 雅也

閉　会　15：50　デザイン研究科長　齊藤 雅也